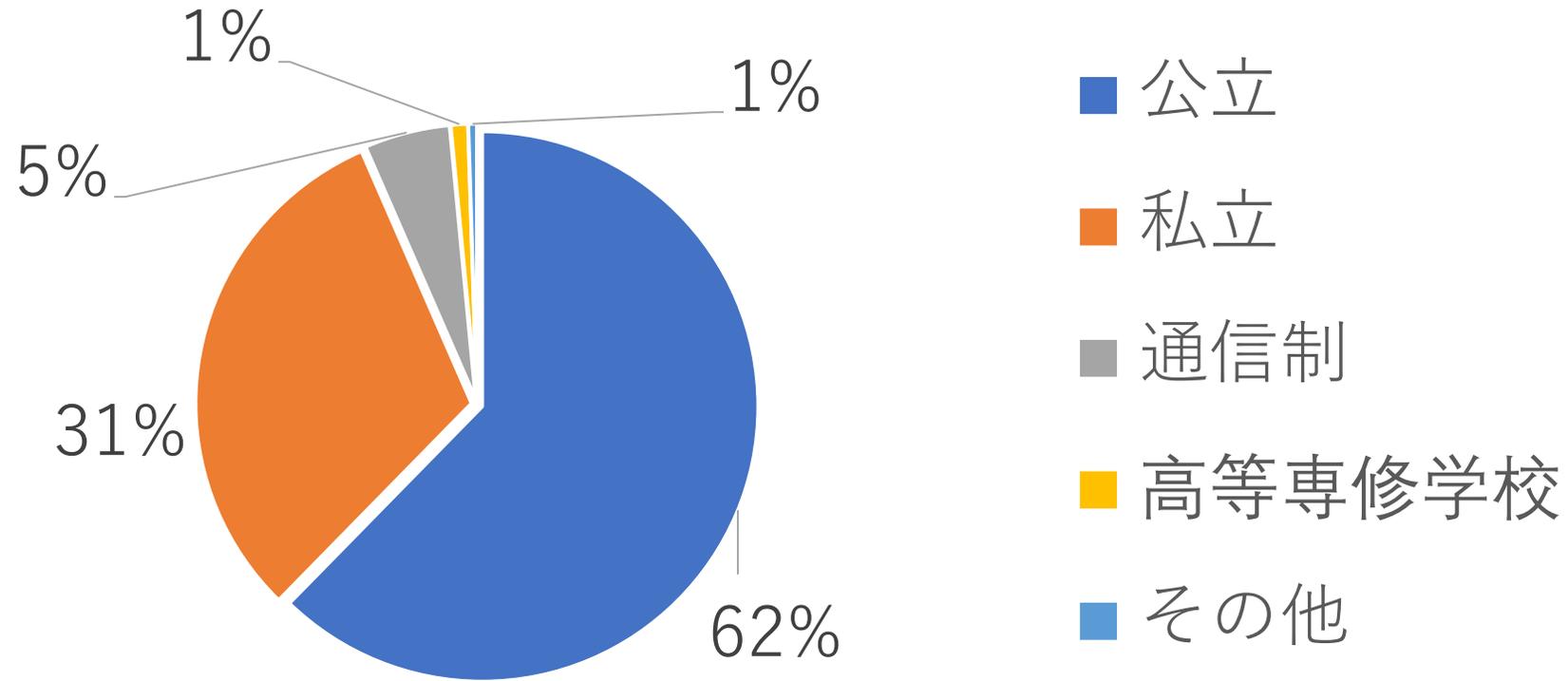


# R7年度 学年末保護者会

3月16日（月）

全体会は14時15分から  
開始します

# 令和7年度 進学先



- 公立へ進学する生徒が半分以上
- 私立は半分が千葉、残り半分が茨城、埼玉、東京など

## 今年度、進学が多かった学校(参考までに)

**千葉公立** 県立柏、市立柏、野田中央、柏南、我孫子など

**千葉私立** 日体柏、西武台千葉など

**茨城私立** 土浦日大、東洋大牛久、取手聖徳など

他県へ進学する（親元を離れる）ことを選択した生徒も  
スポーツだけでなく、農業や工業、音楽などへ進学する生徒も

**最終的には、説明会や見学会に参加して、実際に自分の目で見て、進路先を決めることが大切です**

# 今年度を振り返って① 千葉公立入試について

定員割れしている高校も、2次募集を受けた生徒も

千葉公立高校の調査書の削除項目（4つ）

① 総合的な学習の時間の記録

② 出欠の記録

③ 行動の記録（第3学年）

④ 総合所見



※調査書に「出欠の記録」は記載しないが、私立では推薦基準に残った。入試相談で「出欠の記録」を確認する学校がほとんどだった。「行動の記録」も確認する高校も一部あった。他県私立では、「遅刻の数」を確認する高校も。

## 今年度を振り返って② 私立の変化

- ・ 近隣の私立高校で、推薦の内容や基準が変化  
※併願推薦がなくなる、推薦基準が上がる
- ・ 幅広い地域から私立高校を選択  
※茨城私立だけでなく、埼玉私立や東京私立を受験した生徒が昨年度より多かった

**最新の情報を入手するように心がけてください**

# 今年度を振り返って③

## 生徒の様子から

- ・ 説明会への積極的な参加。

**卒業生の声 「昨年、一昨年から今のように頑張っていれば・・・」**

- ・ 一からすべてを勉強し直すのは大変。  
短期間でやりきれる量に取り組むことがコツ。
- ⇒ **教科書に掲載されている単元のまとめ、学年の  
まとめ問題などを活用**
- ⇒ **定期テストを復習**
- ※ これまでの学習内容で、自分が理解できているところと  
理解できていないところが明確になっている

## 今年度を振り返って④ 入試で気を付ける点

- 公立、私立ともに、**ほとんどインターネット出願**になった。
  - ※一部、他県私立、難関私立などは、従来の手書き
- 公立、私立で、出願の手続きが異なる部分があるので注意が必要。
  - 私立 ⇒ 出願から書類の郵送までが、ご家庭の責任**
  - 公立 ⇒ 出願の承認や書類の郵送は、中学校が実施**

# 公立高校の選抜方法

学力検査の得点 + 調査書の得点 + 学校設定検査の得点 ⇒ **総得点で合否を判定**

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点  理数に関する学科(数学・理科) 国際関係に関する学科(英語) 1. 5倍又は2倍可  ○○○点	<u>135点</u> × K  K = 0.5 ~ 2 原則1  △△△点	0 ~ 50点  県大会出場など 英検・漢検など 生徒会役員など  □□点	1検査 … 10点 ~ 100点 2検査以上…上限150点  *適性検査2つ以上+面接実施の場合 面接50点まで、合計得点の上限は200点  ◇◇点	◎◎◎点

**1年、2年次の通知表の年間評定も、135点に含まれる**

# 来年度(令和9年度千葉公立入試)の日程

- (1) 志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間  
(インターネットにより必要な事項を入力して申し込む。)

令和9年1月12日(火)～2月1日(月)

- (2) 出願書類(調査書等)提出期間

令和9年2月2日(火)～2月4日(木)

- (3) 学力検査等の期日

令和9年2月16日(火)及び2月17日(水)

- (4) 入学許可候補者発表の期日

令和9年3月2日(火)

# 来年度(令和9年度千葉公立入試)の変更点

国語では「放送による聞き取り検査」に代わり、話し合いの場面等を設定した文章による出題へ

# 来年度(令和9年度埼玉公立入試)の変更点

- ① 調査書の様式変更と自己評価資料の提出
- ② 面接をすべての受検生に実施
- ③ 選抜を特色化（共通選抜と特色選抜を導入）

## 共通選抜

各高校は、県が定める次の方法によって、選抜資料の得点を算出します。

- ・学力検査 1教科100点（国数社理英）、合計500点満点
- ・調査書 各高校は、9教科5段階の評定を  
1年:2年:3年=1:1:1 or 1:1:2 or 1:1:3  
のいずれかを選択  
→この基本点を、200 or 300 or 400点満点に換算
- ・面接 各高校は、30点 or 60点のいずれかを選択

## 特色選抜

学科、コース等の特色に応じて、各高校が定める方法で、選抜資料の得点を算出します。

- ・学力検査 1教科100点（5教科）合計500点満点を基本点  
3教科まで150 or 200点で傾斜配点が可能
- ・調査書 評定の各学年の比率（1年:2年:3年）、得点は各高校が定める
- ・面接 得点は、各高校が定める
- ・特色検査=実技検査 or 作文(小論文)  
実施する場合は、学力検査・調査書・面接に加えて資料とする

選抜を、共通選抜のみで実施するか、特色選抜のみで実施するか、共通選抜と特色選抜の両方を組み合わせて実施するかは、**各高校が決定します。**

# 進路実現に向けて

①進路選択は、子どもにとって人生の大きな選択の一つ  
保護者任せ、子ども任せでなく、保護者の適切な助言  
をもとに、子どもが自分の手で将来を切り開いていく  
ことが大切 ⇒ 子どもの自立に繋がる

※「**進路選択 = 受験校選び**」ではない

②配布物や連絡を、保護者と子どもで共有

※**提出物の期限を守る**

③様々なことに「一生懸命」に取り組む。

※**経験が自分の力（周りを思いやる力、やり抜く力など）  
を育て、自己理解（やりたいこと、適正など）を深める。**

④説明会への積極的な参加

# 最後に

受験（検）は、特別なものではなく、**普段の生活の延長線上**にあるものです。「受験（検）」と「学校生活」は別のものではなく、「学校生活」を土台にしたその先に「受験（検）」があります。

「学校生活」の中で、学力だけでなく、様々な力を養う機会があります。その機会を、大切に取り組んでほしいです。保護者の方も、ご家庭でサポートをお願いします。中学校も、受験（検）で生徒の全力が出せるようにサポートしていきます。